

禅寺に伝わるものがたり

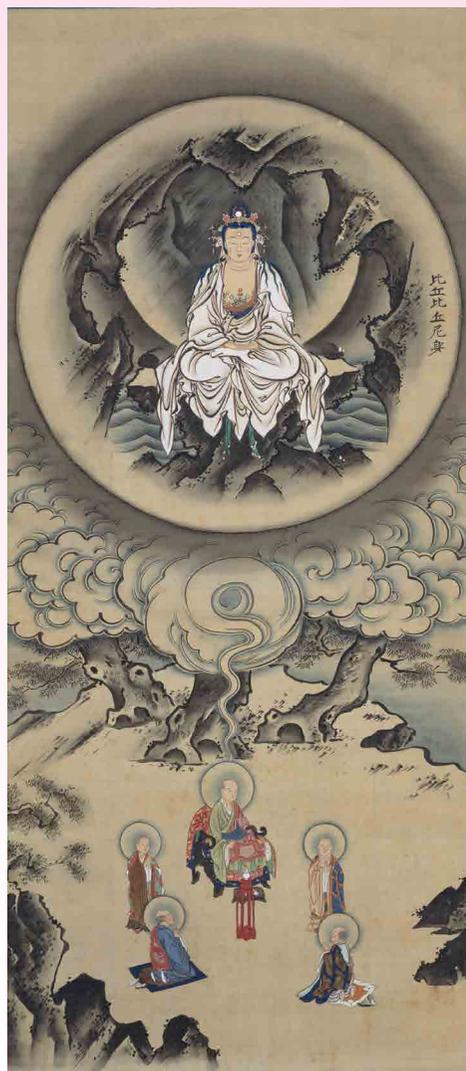
I期 仏教説話と漢故事

無外如大尼生誕八百年記念

II期 女性と仏教

I期 二〇二三年三月十一日(土)～五月七日(日)

II期 二〇二三年五月二十八日(日)～七月十六日(日)



I期
観音三十三変相図 文室宗言筆
三十三幅のうち比丘比丘尼身 相国寺蔵



II期
無外如大頂相 眞如寺蔵

I 期

仏教説話と漢故事

仏教の教え、禅の教えの中には、数多くの先徳たちの逸話がちりばめられています。それらは経典に文字情報として載りました。さらに、そこに記された仏・諸菩薩や先徳たちは絵画化され、仏教美術が花開きました。

寺院空間を荘厳する様々な作品の意匠には、中国の故事由来の画題も多く取り入れられました。本展観では、仏教説話や漢故事を好んだ禅僧たちの詩文や寺院に伝来する絵画・工芸から、禅林に伝わる様々なものがたりを概観いたします。

II 期

無外如大尼生誕八百年記念 女性と仏教

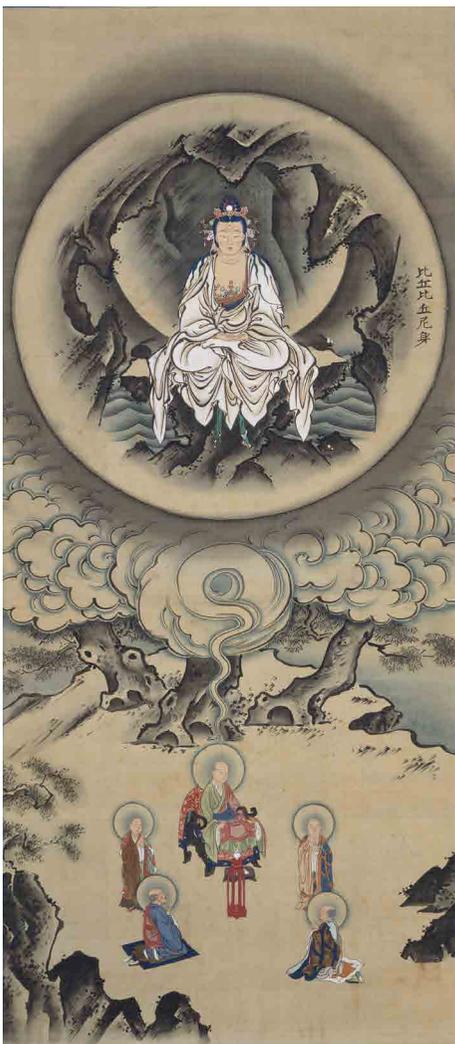
令和五年（二〇二三）は、臨済宗の尼僧、無外如大（むがいによだい 一二二三～一二九八）尼の生誕八〇〇年にあたります。彼女は、臨済宗において女性で、仏光国師無学祖元の法を継いだ最初の尼とされています。十刹に列せられる相国寺派寺院、眞如寺の歴史をたどると、弘安九年（一二八六）に無外如大によって創庵された「正脈庵（しょうみやくあん）」にさかのぼります。また、眞如寺は十六世紀後半からは宝鏡寺門跡の菩提所となり、その寺宝は尼門跡の典雅な文化を今に伝えます。今回は照山元瑤尼、徳巖理豊尼や逸巖理秀尼など、出家した皇女達のゆかりの品をご覧ください。

相国寺派寺院伝来の寺宝から、無外如大尼の時代から近世に至るまでの女性と仏教のかかわりを探ります。

第一章

観音様のものがたり

観音三十三変相図 文室宗言筆 三十三幅 相国寺蔵(画像1)
三十三幅のうち 比丘比丘尼身



第二章

お釈迦様のものがたり

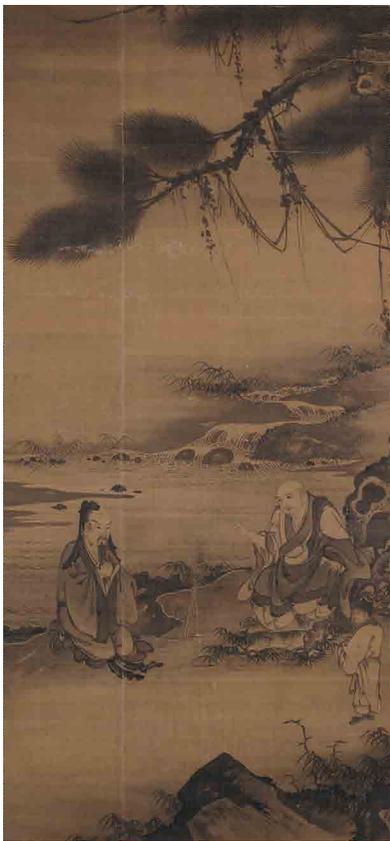
世尊説相図 月光筆 相国寺蔵
涅槃図 鹿苑寺蔵(画像2)



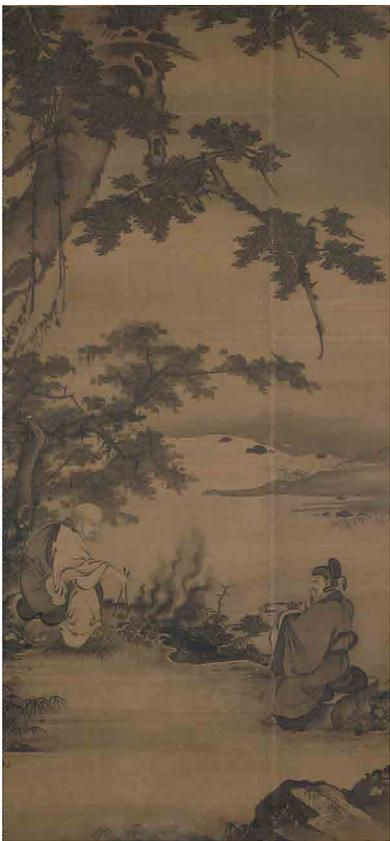
第三章

禅僧たちのものがたり

俱胝 懶讚和尚図 周丹士筆 相国寺蔵（画像3）
豊干寒山拾得図 牧谿筆 鹿苑寺蔵



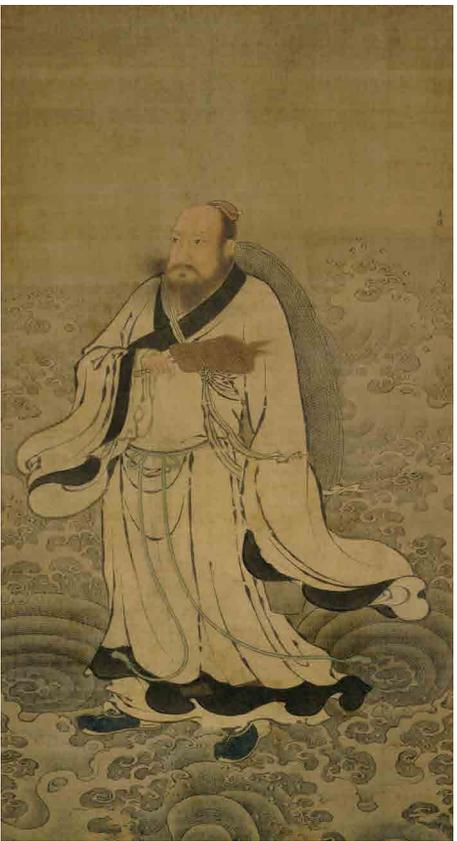
3



第四章

大陸の先徳たちのものがたり

陳南先生浮浪図 劉俊筆 相国寺蔵（画像4）
中商山四皓図 左右山水図 狩野元信筆 慈照寺蔵



4

みどころ1

三十三観音三十三幅を一同に

三十三という数は、観音菩薩が三十三の姿に変わって人々を救いにくるという『法華経』の専門品に説かれた内容を元とします。相国寺の僧、文室宗言が描いた三十三幅には様々な姿で描かれています。相国寺を代表する法要、観音懺法でもかつては掛けられました。観音を勧請する空間を彩った作品を一同にご覧ください。

みどころ2

画中にストーリーを持つ作品の数々

禅宗のお寺で目にする絵画の画題は様々です。インドから中国大陸を経て日本にもたらされた仏教の經典に描かれる世界、そして儒教や道教に由来する人物の逸話を描いた作品など、日本では見ることのできない世界を描いた作品が多く伝来しています。日本とは服装や顔貌も異なる人物が、様々な奇瑞とともに描かれた作品は、時代を超えてみる人の想像力をかき立てます。



蝦蟇仙人図 慈照院蔵 ※初公開

第一章

無外如大の学んだ禅

無学祖元頂相 真如寺蔵(画像1) ※初公開



1

第二章

無外如大と真如寺

無外如大頂相 真如寺蔵(画像2) ※初公開



2

第三章

真如寺の再興

法堂「大雄殿」扁額墨蹟 真如寺蔵(画像3) ※初公開



3

第四章

寺宝に描かれた女性

西王母図 曾我蕭白筆 慈照寺蔵（画像4） ※初公開



4

第五章

近世の皇女と禪

観音像 照山元瑤筆 瑞春院蔵（画像5） ※初公開



5

第六章

近世の皇后による寄進

夢窓国師像 堯恕法親王筆 普明国師像 足利義満像 狩野探幽筆 相国寺蔵
開山堂襖絵 雪中山水図 円山応挙筆 十面 相国寺蔵（画像6）



6

みどころ1

眞如寺の名宝

禅寺の五山十刹の十刹に列せられる名刹相国寺派寺院、眞如寺の歴史をたどると、弘安九年（一二八六）に無外如大によって創庵された「正脈庵（しようみやくあん）」にさかのぼります。そして、十六世紀より宝鏡寺の門跡となった皇女たちの菩提所でした。勸請開基の無外如大尼の生誕八〇〇年の今年、眞如寺の全面的な協力のもと、名宝をご披露いたします。



眞如寺法堂大雄殿

みどころ2

相国寺派寺院と近世の皇女たち

相国寺山外塔頭鹿苑寺の方丈は延宝六年に後水尾院によって再建されました。その棟札には、後水尾院皇女、光子内親王の執奏により行われたことが記されています。そして、その光子内親王（出家後 照山元瑤）の描いた観音像などが相国寺の複数の塔頭に伝来しています。宝鏡寺や大聖寺などに入寺した皇女たちの描いた絵画や墨蹟を初公開いたします。

開催情報

会期	I期 2023年3月11日(土)～5月7日(日) II期 2023年5月28日(日)～7月16日(日)
休館日	2023年5月8日(月)～5月27日(土)
開催時間	10:00～17:00(入館は16:30まで)
拝観料	一般800円 65歳以上・大学生600円 中高生300円 小学生200円 ※一般の方に限り、20名様以上は団体割引で各700円
主催	相国寺承天閣美術館
特別協力	眞如寺(II期)
協賛	一般財団法人 萬年会 鹿苑寺 慈照寺

アクセス

JR京都駅より

京都市営地下鉄 今出川駅下車 3番出口から徒歩8分

阪急電車烏丸駅より

京都市営地下鉄 今出川駅下車 3番出口から徒歩8分

京阪電車 出町柳駅 3番出口より徒歩20分、または市バス

市バス 59・201・203号系統 同志社前下車 徒歩6分

市バス 102号系統(洛バス) 烏丸今出川下車 徒歩8分

イベント

I期	スライドトーク	4月1日(土)、5月6日(土)	14:00～14:30
	講座	5月3日(水・祝)	14:00～15:30
II期	スライドトーク	6月3日(土)、7月1日(土)	14:00～14:30
	講座	6月24日(土)	14:00～15:30

場所：当館講堂(開場13:30)

※各イベントには当日の拝観券が必要です。

※コロナウイルス流行等の状況により中止となる場合があります。

最新の情報は当ホームページにてご確認ください。

次回展

「若冲と応挙」

I期 2023年9月10日(日)～11月12日(日)

II期 2023年11月19日(日)～2024年1月28日(日)

「頂相―祖師たちの絵姿」

I期 2024年3月17日(日)～5月12日(日)

II期 2024年5月26日(日)～7月21日(日)

相国寺承天閣美術館

SHOKOKUJI JOTENKAKU MUSEUM

〒602-0898 京都市上京区今出川通烏丸東入ル

TEL : 075-241-0423 WEB : <http://www.shokoku-ji.jp/>

〔報道関係者様お問い合わせ先〕

「禅寺に伝わるものがたり」広報事務局(TMオフィス内)

担当：馬場 TEL : 06-6231-4426 FAX : 06-6231-4440 Email : shokokuji@tm-office.co.jp